

9.5
THU

Cardiovascular Conference in Kyushu ～循環器疾患の未来戦略を考える～

2024年9月5日(木) 18:30～19:50

会場: 済生会熊本病院外来がん治療センター4F コンベンションホール ※webとのハイブリッド開催
申込: 右記二次元バーコードより 主催: バイエル薬品株式会社



≪基調講演≫ 座長: 古山准二郎先生 / 済生会熊本病院 循環器内科部長
講演①「高価値医療を目指した当院の取り組み(心不全、弁膜症、虚血部門)」
演者: 兒玉和久先生 / 済生会熊本病院 循環器内科医長
講演②「当院における不整脈治療の新たなアプローチとその展望」
演者: 劔卓夫先生 / 済生会熊本病院 循環器内科副部長
≪特別講演≫ 座長: 坂本知浩先生 / 済生会熊本病院 副院長 兼 心臓血管センター 循環器内科上席部長
「多様化する循環器診療における九州大学病院の取り組み」
演者: 阿部弘太郎先生 / 九州大学大学院医学研究院 循環器内科学教授

9.24
TUE

第10回多職種連携心不全セミナー(Multi disciplinary-Heart Failure conference)

2024年9月24日(火) 18:30～20:00(予定)

会場: 済生会熊本病院外来がん治療センター4F コンベンションホール ※webとのハイブリッド開催
申込: izawa.kazuto@toaeyo.co.jp または右記二次元バーコードより
主催: トーアエイヨー株式会社



≪製品紹介≫ 「トルバプタン錠7.5mg,15mg」トーアエイヨー株式会社
≪基調講演≫ 座長: 前田美歌先生 / 済生会熊本病院 心臓血管センター 循環器内科医長
演者: 兒玉和久先生 / 済生会熊本病院 心臓血管センター 循環器内科医長
≪特別講演≫ 座長: 坂本知浩先生 / 済生会熊本病院 心臓血管センター 副院長
演者: 絹川弘一郎先生 / 富山大学 学術研究部医学系内科学(第二) 教授

10.17
THU

地域の心不全連携促進で「心不全入院」をさせないために

2024年10月17日(木) 18:30～19:30

会場: オンライン配信のみ 申込: 右記二次元バーコードより 主催: ファイザー株式会社



総合座長: 平山和人先生 / 平山ハートクリニック 副院長
講演① 心不全治療の『前方』連携 ～緊急入院を減らすために～
演者: 兒玉和久先生 / 済生会熊本病院 心臓血管センター 循環器内科医長
講演② 心不全治療の『後方』連携 ～退院後の再入院を予防するために～
演者: 前田美歌先生 / 済生会熊本病院 心臓血管センター 循環器内科医長

11.11
MON

ファブリー病セミナー～日常診療に潜在する遺伝性心疾患～

2024年11月11日(月) 18:30～19:30

会場: メルパルク熊本 ※webとのハイブリッド開催
主催: 住友ファーマ株式会社

[サイクル]

済生会熊本病院 連携広報誌

vol. 94
2024. August

s a i k u r u

明日へつながる、より確かな医療連携をめざして。



since 2013

済生会熊本病院
心不全チーム
特集

SKHCVC
Heart Failure Team

Warmful, Advanced and Reliable Care, Now and Forever

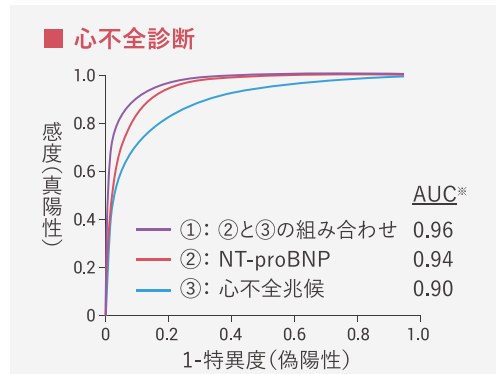
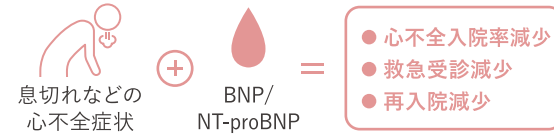
心不全
最新TOPICS



『心筋梗塞』のみならず、『心不全』診断・治療も時間との戦いです

01 Peptide for LIFF: 心不全診断に、BNP/NT-proBNPを活用しましょう

BNP/NT-proBNPは、主に心室でのストレス増加に応じて、速やかに生成・分泌されます。したがって、心室ストレスが増大する心不全では、重症度に応じて血中濃度が増加します。心不全症状とBNP/NT-proBNPを併用しますと、高い診断能で心不全を診断することができます。2000年代と比較して、近年の心不全治療薬の発展とともに、心不全再入院や死亡率の低下など心不全の予後は改善しています。このため、BNP/NT-proBNPを用いて心不全早期スクリーニングを行い、①心不全早期診断②早期治療介入を行い、急性心不全発症抑制・心不全進行予防することが重要です。



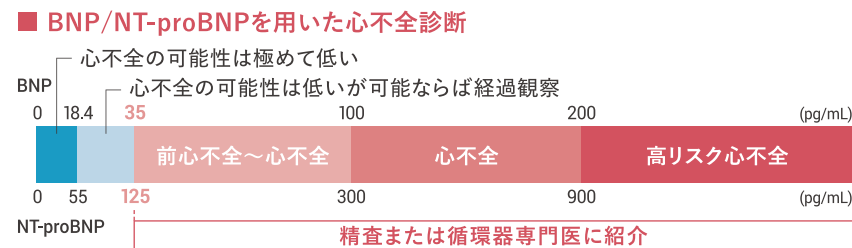
※AUC=Area Under the Curve

02 まず、心不全を疑いましょう

生活に支障をきたす心不全症状には、主に右記の症状があります。症状・身体所見より心不全が疑われる場合、積極的にBNP/NT-proBNP評価をお願いします。

心不全症状	症状例
息切れ	<ul style="list-style-type: none"> 労作時息切れ <ul style="list-style-type: none"> 階段や坂道を上るとき、2〜3ヶ月前より息切れがしやすくなった 休まないと長い距離を歩けなくなった 起坐呼吸 <ul style="list-style-type: none"> 座っている方が楽だった 発作性夜間呼吸困難 <ul style="list-style-type: none"> 寝ていたら、胸が苦しくなった 前屈位呼吸困難 <ul style="list-style-type: none"> 前にかがみ靴や靴下をはくときに、息苦しさがある
むくみ	<ul style="list-style-type: none"> 下腿浮腫 <ul style="list-style-type: none"> 1ヶ月に2〜3kg体重が増えた 顔のむくみが強くなってきた 顔面浮腫 <ul style="list-style-type: none"> 最近、一日中足がむくむようになった
排尿	<ul style="list-style-type: none"> 昼間の排尿の回数が少なく、夜間の回数が多い
食欲低下	<ul style="list-style-type: none"> 最近、食欲がない、またはおなかが張りやすい
全身倦怠感	<ul style="list-style-type: none"> 最近、手足がつめたく、だるさを感じる
頸静脈怒張	

心不全を疑う症状・身体所見を有し、BNP 35 / NT-proBNP 125(pg/mL)以上は、前心不全〜心不全の可能性があります。年齢に応じてカットオフ値は異なりますが、心機能障害の進行および、心不全発症予防や治療が必要となる可能性があるため、お気軽に当院へご紹介ください。



※日本心不全学会ステートメント(2023)

■ 年齢毎の心不全症状を有する場合のBNP/NT-proBNP心不全診断

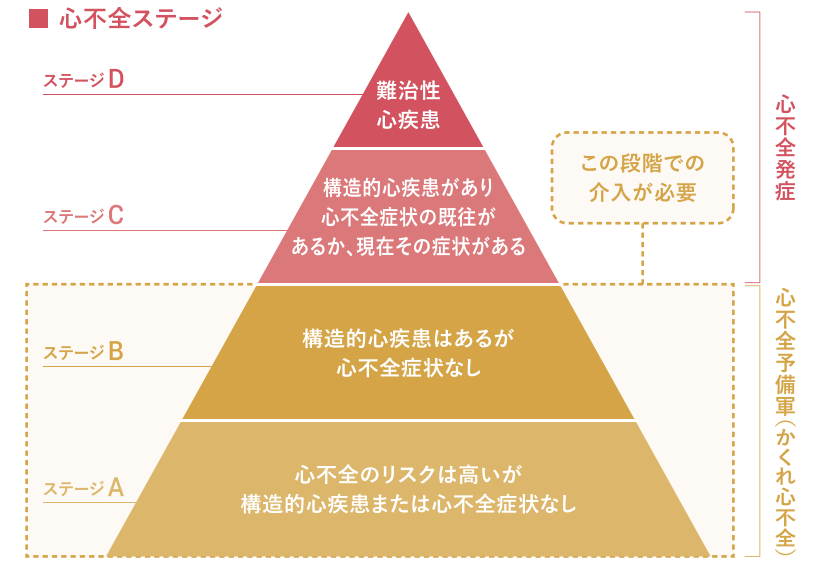
50歳未満: BNP \geq 35 / NT-proBNP \geq 125 (pg/ml)	BNP \geq 560 / NT-proBNP \geq 2000 (pg/ml)
50〜74歳: BNP \geq 70 / NT-proBNP \geq 250 (pg/ml)	
75歳以上: BNP \geq 140 / NT-proBNP \geq 500 (pg/ml)	

低 心不全疑い 高

安静時のみの検査では心不全の病態を過小評価することもあるため、当院では安静時の検査だけでなく、運動負荷エコー検査や心肺運動負荷試験、負荷右心カテーテル検査などを用いて、負荷時の病態まで評価を行います。

03 つぎに、かくれ心不全を疑いましょう

心不全ステージは4段階に区分され、心不全未発症でも高血圧、脂質異常症、糖尿病などの心不全リスク因子を有する状態はステージA=心不全リスク状態です。陳旧性心筋梗塞など、心不全以外の心血管既往がある場合はステージB=前心不全状態です。近年、心不全発症予防のエビデンスを有する薬剤についての発表が相次いでおり、心不全発症・進行予防のためには、心不全予備群(かくれ心不全)であるステージA・Bからの介入が重要です。心不全発症・進行リスクは下記疾患が挙げられます。



- 心不全発症・進行リスクのある疾患**
- 狭心症・虚血性心筋症
 - 心筋細動
 - 糖尿病
 - 腎臓病
 - 高血圧
 - 肥満
 - 慢性閉塞性肺疾患(COPD)
 - 心毒性を有する薬剤で治療中

無症候でも心不全発症・進行リスクのある上記疾患を有する場合、心筋ストレスを有する前心不全状態の可能性が高いため、BNP/NT-proBNPにて心ストレス・スクリーニング検査をお願いいたします。

■ 年齢毎のBNP/NT-proBNPを用いた心ストレス・スクリーニング検査



2024.06.15 sat プラザ図書館講演会報告

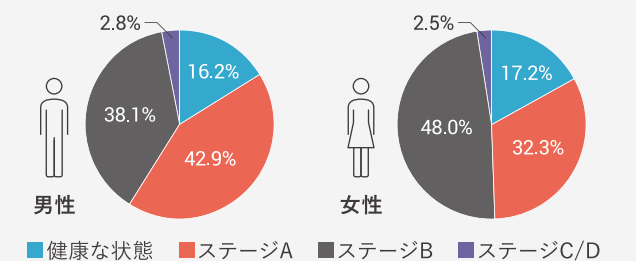
Report

市民の皆様への心不全への関心度は非常に高く、心不全の定義、心不全発症・進行予防の重要性(心不全ステージをすすめないこと)、心不全スクリーニングに有用なBNP/NT-proBNPの活用方法を知っていただく機会となりました。

■ 心不全の定義



一般住民(平均年齢66歳)におけるかくれ心不全(心不全ステージA・B)は8割以上にのぼります。



心不全リスクにあわせて定期的なBNP/NT-proBNP検査を施行いただき、お気軽に当院へご紹介ください。日常臨床に当院をご活用いただけたら幸いです。

引用文献:
1) JL Januzzi Jr, et al. Am J Cardiol. 2005; 95(8): 948-954.
2) Bayes-Genis and Bozkurt. JACC: Heart Failure. 2024; 12(6): 1115-1116.
3) Bayes-Genis, et al. European Journal of Heart Failure. 2023; 25: 1891-1898.
4) Reza Mohebi et al. J Am Coll Cardiol. 2023; 81(23):2231-2242.

監修:
循環器内科医長
前田美歌

